

各 位



2021年6月8日

セントラル警備保障株式会社
株式会社 Liberaware

小型ドローンを活用した屋内設備点検・監視巡回サービス事業展開について

セントラル警備保障株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役執行役員社長：澤本尚志、以下「CSP」）と株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表者名 関弘圭、以下「Liberaware」）は、小型ドローンを活用した設備点検・監視巡回サービスを協業で開始します。人が行っているルーティンワークをドローンで代替、点検・監視作業の省力化・省人化、安全性向上を提供します。

1. サービスの概要

GPS の届かない屋内における狭所や高所、暗所など危険性の高い、および作業時に足場などが必要となる設備点検において、世界でも指折りの産業用の狭小空間特化型純国産ドローンによる撮影画像を提供することにより、安全性や生産性向上に寄与するサービスを推進します。操縦型小型ドローンによる点検箇所の撮影や空間計測サービスを行うほか、今後、決められた時間に決められたルートを巡回飛行し、設備点検や監視業務を自動で実施できる自動巡回型ドローンサービスを開発し、提供していく予定です。また、オプションで動画データを解析・編集し、複数の動画をつなぎ合わせて 3D 化や点群化、オルソ画像化も実施します。



【点検イメージ】

2. ターゲットとするエリア

天井裏、地下ピット、煙突内部、配管タンク内部、ボイラー内部などのインフラ・プラント点検や、データセンター監視、施工進捗管理、計器監視、物流倉庫内の棚卸などを想定しています。

3. 各社の役割

・ CSP

設備点検用ドローンの運営を全面的に請け負い、自社のドローンパイロットを育成し保有します。今後、自動巡回型ドローンを活用した警備用巡回ドローンを共同開発し、自社警備先の巡回警備の自動化を推進するとともに、警備用巡回ドローンのレンタルサービスの開始と Liberaware 社への資本参加を予定しています。CSP は従来より、ドローン機器やアンチドローン機器の販売に力を入れており、本事業の立ち上げとともに社内にもドローン事業専門の組織を発足し、ドローン事業の拡大を図ります。

・ Liberaware

屋内専用ドローンに特化したメーカーとして狭小空間特化型純国産ドローン「IBIS」を開発、既に製鉄会社や電力会社、石油化学コンビナート等の大型プラント設備を保有する企業を中心に、煙突内、配管内、ボイラー内などの点検を実施しています。今回の協業により「IBIS」の普及、業容拡大を図ります。

4. 《狭小空間特化型ドローン「IBIS」について》

| | 操縦型 IBIS | 自動巡回型 IBIS |
|-------|---------------------------------|------------------------------------|
| サイズ | 191×179×54mm (プロペラガード込み) | 450 X 200 X 120mm (プロペラガード込み) |
| 重量 | 185g (バッテリー込み) | 開発中 |
| 主要装備 | LED 照明、防塵モーター、超 高感度カメラ 他 | 自動充電装置、LED 照明、超 高感度カメラ、管制システム 他 |
| 機能・特徴 | 狭小空間で低速で安定飛行す ることによる鮮明な画像を取得 | 自動航行、衝突回避、リアルタイ ム映像伝送、遠隔操作 |

【操縦型 IBIS】



【自動巡回型 IBIS】



■ この資料に関する問い合わせ先

【セントラル警備保障株式会社】 広報部

Tel 03-3344-8747

【株式会社 Liberaware】

Tel 043-497-5740